

左京区

オブジエで選んで、この夏、目元に差をつける。

中京区

料理もドリンクも徹してプロヴァンス。南のフレンチが気軽にやれる。

下京区

ギツシユ よりお洒落により高感度に。期待に応えるヘアサロン。

秀

逸品揃えで、ちゃんとファン多しのグラスショップ、オブジエこの夏、ぜひ入手しておきたい極艶なニューアイテムが入荷。日本初お目見えのフェンディはじめ、国内ではほとんど入手不可、といききてしまつても過日ではないゴルチエのモデルなら洒落ものには見逃せないアラ品々が充実。また、今夏は「シルバーにブラウンレンズなど、ヤーブなものがさう」とは、オーナー龍島氏。他にも、昨年同様、ブルー系はもう少し、ミラーレンズもあるなど気配だとか。グラス必須となるこれからシース、ぜひお出でをみてみるべし。

■京都府左京区田中通北上化野町ハイツ三階1F 075-711-6109
11:30~19:00(火休)



オブジエだけのオリジナル、メタリックレンズのアイテムはゴルチエから¥27,000。仙人気質のシットポンのグラスは¥20,000。



国内ではほとんど入手不可のゴルチエのニューモデル。¥30,000。フェンディのグラスは、この夏日本初お目見えのお目録。¥25,600。



ピンクのフレームがオシャレなアラン・ミクリのグラス¥35,000。赤フレームも同じくミクリが¥14,000。

グ

ルメといったてもこれといった流行がないこの頃であったが、バカラ売れしたエッセイ本などから火がついてヒットになりそうなプロヴァンス料理を気軽にやれる店。南仏あたりではこれが普通というスチールのカウンターでカブチーノ一杯立ち飲みも、テーブルでゆったりア・ラ・カルトもいけるカジュアルなキャフェ・レストラン。トマトやニンニク、ハーフなどプロヴァンス料理特有の素材を使った仔牛のグリエなどのメニューは当然南仏では誰もがオーダーするというボビュラーな食前酒、アニス酒なども用意するなど、アイスコーヒーも含め南のフレンチが新鮮に楽しめる。

■京都市中京区寺町通二条組木町1-1
075-211-5220 08:00~21:00(月曜日~土曜日)
ナスコ(木休)



ちょうど一杯に寄りやすい店造り。外の空気が入ってくるフランクさ。アメリカンは西かず。カフェ・オレはカフェ・ア・ラ・フレームと表記される。フランスではボビュラーナビン・ジュース、オラジーナなどドリンクもフレンチな味が掛っている。

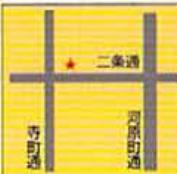


生クリームやバターは使わず、トマトやニンニク、ハーブを使ったプロヴァンス料理はあっさりした美しさ。バニエに盛られたオードブルができるコースは¥2,700。

FASHION
GOODS
GOURMET
SPACE
SHOP
NIGHT SPOT



アーチ酒を水で割って楽しむのが南仏のスタイル。水が入ると白濁する特徴も慣れるたまらない。という。



スタッフもカジュアル。腰間からビールも抵抗がないフレンチなカウンター。

中京区

アイスクリーム・ショップ「バラダイス」エクセルレントなトロピカル・ジェラート



白を基調にした小柄な店内は、地下であることも忘れさせるほどの開放感。十分にリラックスできる。



京都市下京区寺町通四丁目大曾根宮町1F
075-343-0660
11:00~21:00(月曜日~土曜日)
6~10月 第3火休



カフェ・オレやバニラ、メロンなどのフレーバーもあり。シンクル¥300。ダブル¥400。



手焼きのコーンにのせられたなりアンとマッシュティーン。当然第2種類は入っていないのでどちら自然なやさしい色合いで。



二条通 河原町通

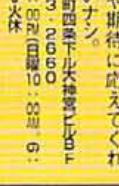
スタンフモ皆、君で気さく、気軽にどんどん相談して、自分に合うたなスタイルを見つけよう

下京区

ギツシユ 気のヘアサロン、ギツシユが、場所を移転、店内舗もガラリとイメチェンしてリニューアルオープンした店内、白をベースにシックなヨーロピアン調で統一され、お洒落度もグッとアップ。25坪という広々とした空間は、地下といいうのも忘れさせないほど明るく、十分にリラックスさせてくれる。もちろん、肝心の技術面も心配無用。しっかりとカウンセリングしてから、というボリュームはそのままながら、必ずしも期待に応えてくれる。そこで間違いなし。

人

ユが、場所を移転、店内舗もガラリとイメチェンしてリニューアルオープンした店内、白をベースにシックなヨーロピアン調で統一され、お洒落度もグッとアップ。25坪という広々とした空間は、地下といいうのも忘れさせないほど明るく、十分にリラックスさせてくれる。もちろん、肝心の技術面も心配無用。しっかりとカウンセリングしてから、というボリュームはそのままながら、必ずしも期待に応えてくれる。そこで間違いなし。



二条通 河原町通

中京区

アーニル スパイシーで濃い夜。 ネバール系京都人のバッティ。



この街に来てから「盆地の地形といい人とのつき合い方といいネバールと似てる!!」と京都びいきのアーニル。味のある手書きのアヤシイ京都弁(笑)。

■京都市中京区先斗町三条下北下
TEL 075-212-1774
毎日
18時~22時
休

人に京都っぽいネバール人、アーニルが開けているネバール料理&バーのバッティでアーニル。彼手作りのネバールカレーやタル豆のステーキ、すな肝のスパイシーカツ炒めのハンバーグなどを食べに晩めし食いに足を運ぶのもいいが、この店の本領を見たいなら深夜。「一晩に生テキラ25杯飲んだことがある」酒好き、シャレ好きアーニルにバー・ホッピング好きな客が絡みに入る。64というネバールの地酒口キンにネバールの刀剣ボトルに入ったラム酒クリアムなどいつのハーブ&レア系の酒が揃っていてワイルドなネバールナイトが楽しめる。「酔わしたい男おつたら連れてきてね」と微笑むアーニルの達者でアヤシイ京都弁と流れれるネバール音楽がええ感じだ。

中京区

ジャングル・カフェ 搾りたて果汁でフレッシュなカクテルと 焼きたてタコヤキのジャングルなバー。



千院から古知谷への精街道沿いに「モーブの窓」がOPENした。オーナーが「週末にのんびり過ごせる場所」と作ったカフェだけあり、そこは清流が流れる最高のロケーションだ。カントリー風、民芸風の3つのスペースでは自然の材料を使用して実際にナチュラルなメニューがいただける。山の清水で入れたコーヒーや紅茶、オーナー自ら育てたミントなどのハーブティー、季節のオリジナルランチ(要予約)など、本格レコードも用意され、全く自由に「くつろぐスタイルで時間もフリー」。どちらかともかく眺められ、セシナルハイパート感覚で利用できる。

■京都府京都市左京区大原野南町四丁目
TEL 075-244-3241
毎日
11時~21時
休

森へのハイキングをイメージし、壁中にベニスラインティングしたバーレンジングル・カフェ。一見ジャングルなバー、なのだが実は「自然がテーマ」というだけあり、オーダーが通つてからカットする握りたてのフレッシュ・ジュースを使ったカクテルに、水はアルカリイオン水使用と素材にもしっかり気を使つており、美味しい酒で機械良く酔わせてくれ。またカウンターの客が「ほほほ」とベニスでやれる自分で焼けるタコヤキ」や、生卵を使った「ゴルデンハーバーリーフ」など楽しげなメニューが揃っているのも楽しみなバーである。

■京都府京都市中京区河原町三条下北下
TEL 075-255-1200
毎日
16時~22時
休



オーダーが通つてから握ってくれるフルーツ果汁使用のカクテル¥900。



ほしほしひきながらが楽しい「自分で焼くタコヤキ」16個¥700。

新進作家の 新鮮なセンスを 集めた、 より身近なアート。



着手の新鮮なイラスト
がプリントされた
手ぬぐい ¥900

三 街 ユ ニ ス な れ タ FASHION GOODS GOURMET SPACE SHOP NIGHT SPOT



ロクハウスクの建物は元々別荘として使っていたもの、内装はそのまま使いつづけてもらっている。



ディーメニューはすべてクッキー付で、コーヒー/紅茶¥400、ハーブティー¥450。自然水でうまい。



新進作家のオリジナル・イラストがプリントされたTシャツシリーズが、アートラッシュ・サントリのベンディングのイラストでおもしろい壁紙リユウウジ氏を始めとして、それぞれに独自のセンスを持つ作家たちのTシャツを取り扱っているのは北山作家たちを集めたこのTシャツ。作家の「作家モノ」をメインに扱うショップで、作家一点作成のシャツや紙素材のウォッチなど面白いものが揃っています。

